

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和6年11月20日（水）
午前10時00分 開会

○坂井美穂委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。

協議題1「閉会中の調査事項」①県外視察報告書について、を行います。

先般の行政視察につきましては、委員の皆さまのご協力により、恙なく視察を終えることができました。ありがとうございました。今後、当局に対し行う提言（委員会報告）をとりまとめていくこととなりますが、本日は、皆さまから提出いただいた視察報告書についてポイントと提言に対するご意見など、順にお聞かせいただきたいと思っております。

○沢田清委員

現在行っていることについても、視点を変えて考えることで市民の協力が得られることに繋がる点、企業とは包括連携を結ぶことで更なる公民連携に繋がり、できることが増えるのではないかと感じました。また、人口の少ない上勝町の取組みを本市の自治区の取組みとして置き換え、自治区がやれることを順次、取り入れることができればよりよくなるのではないかと感じました。そして、その内容をしっかりと市民に対し、説明をすることが重要であると感じました。さらに、坂出市が行ったように、市民のみでなく、庁内全体で取り組む体制を整えることで全庁的に推進できる取組みに繋がるのではないかと感じました。

○伊藤正興委員

徳島市の取組みとしては、ごみの名称変更を行ったことが話題となり、市民が関心を持つことに繋がったことから PR 効果があったと感じました。また、SNS を活用している点も、本市もしっかり取り組む必要があると感じました。上勝町の取組みとしては、小さい町だからこそできることがあるとは思いましたが、行政として、しっかり取り組むという方向性を定め取り組んでいると感じました。また、生ごみの堆肥化の推進を行うことは、ごみ減量に繋げることができるのではないかと感じました。ごみとして出されたものの中にも活かせるごみ（もの）、資源化ができるものがあるのではないかと考えさせられました。坂出市が実施しているウォータースタンドは、有効だと感じるとともに、マイボトルの推進など、意識づけが必要だと感じました。

○小出義一委員

SDGs の視点から取り組むなど、広い視点を持って取り組む必要性を感じました。企業、学校、行政でできること、それぞれを巻き込んで進めていく必要性を感じました。上勝町における取組みについて、世帯あたりにかかる費用については、本市においても大きな差は生じていないと感じましたが、資源化に係る単価を表示するなどの見せ方の工夫を行うなど取り入れるとよいと感じました。

○澤田勝副委員長

徳島市ではエコステーションが市による運営、民間による運営として2か所設置されていました。本市もエコステーションを設置していますが、さらにリサイクル率を上げるためには、民間によるエコステーションが重要かと思いました。また、人口規模は異なりますが、上勝町の取組みを本市の自治区等に置き換えると、徹底した分別ができれば参考になるのではないかと感じました。そして、民間の力を使用している点は活かせる部分があると思いました。坂出市は、マイボトルを導入した点については、意識を高める意味ではよいと感じました。

○岩田玲子委員

企業とタイアップ、連携を強化することで更なる推進に繋がると感じました。上勝町の取組みについては、本市の自治区に置き換え取り組んでいくとした場合、分別の種類を増やせるような取組みを行うにあたり、市がサポートすることが重要になるのではないかと感じました。そして、どのようにリサイクルされているのかといったPR、周知をすることで意識の醸成に繋がるとも感じました。また、坂出市が実施していたように庁内の縦割りを無くすとともに、専門部署が特化して事業を推進していくことにより、リサイクルへの意識づけや繰り返し取組みを行うことができていることに繋がっていると思いました。このようなことができれば、本市においても推進できるのではと感じました。

○田中嵩久委員

徳島市は、市と市民の連携や、その連携の活動を後押しする仕組みができていると思いました。この仕組みにより、市民が頑張ろうとした際には、後押しできる流れとなり、ムーブメントに繋がるとも感じました。上勝町においては、モチベーションが高いと感じました。取り組み方次第では、本市においてもできることがあると感じました。坂出市の取組みでは、デザインにすると映えるものを活かして推進することもよいかと感じた半面、ペットボトルゴミを出さないという考えからマイボトルを推進しているとのことからも、回収されたものをどのように利活用するかがポイントではと感じました。

○大山仁志市民経済部長

本市は、環境課が取組みを担っていますが、坂出市では、環境課以外の部門がしっかりできており、サポート体制ができていると感じました。横断的な取り組み、SDGsの視点も取り入れることは、さらなる推進には重要なのではと感じました。また、上勝町が行っているリサイクルされたものがどのようになるか、などのわかりやすい表示は、意識づけにも繋がり効果があるのではと感じました。

○坂井美穂委員長

徳島市が行っている「ハブラシリサイクルプログラム」については、全世代の方が参加でき、再生品ができるまでの仕組みを知ってもらうことにもなり、循環型社会に向けた機運醸成に繋がると感じました。また、子どものときからの意識変革も重要であり、企業との包括連携協定を結び、循環型社会を学べる機会の創出に繋げてほしいと感じました。上勝町が行っている「おかえりブロック」も資源循環への動機づけに繋がると感じました。有料で配布されている資源分別パンフレットには、処理費用等が明示されており、半田市においても取り入れるとよいと感じました。また、本市のランドマークとなるようにリサイクルセンターの構想を持っていただきたいとも感じました。そして、モチベーションを維持するために「ちりつもポイント」のような還元策を創設してもらえればとも感じました。生ごみについては、堆肥のみでなく、バイオマス発電に活用できないかといった検討をいただくことができないかと感じました。この他、庁内で脱炭素の視点を入れ、推進できる体制の整備をしていただけないかと感じました。プラスチック削減の取組みとしては、坂出市のように企業と協定を結び、屋内・屋外用給水器五を常設設置できるように検討できればと考えました。

皆さま、ありがとうございました。

しばらく休憩します。

午前10時35分 休憩

午前10時43分 再開

○坂井美穂委員長

会議を再開します。

休憩中にご協議いただきました結果、庁内における横断的な取組みや資源循環への動機

づけの一助として、表示方法の見直し、などがキーワードになるのかと感じましたので、委員会報告の素案を正副委員長でたたき台を作成しまして、次回、12月17日に予定されている建設産業委員会の開催までに委員の皆さまにラインワークスにてご案内させていただきます。委員の皆さまにおかれましては、次回の委員会までにお目通しいただき、ご協議したいと思っております。

続きまして、②リモート視察について、を行います。

現在、横浜市と1月20日（水）に予定をしているところですが、10月30日付のタブレット掲示板に、議会日程として1月臨時会の日程が掲載されておりました。しかしながら、リモート視察の開催時間の変更は、難しいこと、また、臨時会の開催が本日時点で未定となっていることを踏まえ、現時点では、いったん、横浜市とのリモート視察を予定通り実施することとしたいと考えております。同日に臨時会が開催されることとなった場合は、改めて、実施の有無や文書照会への切り替えを含めた実施方法について、次回の委員会で協議したいと考えますが、よろしいでしょうか。

【 「異議なし」との声あり 】

ありがとうございます。それでは、現時点となりますが、横浜市とのリモート視察を1月20日に実施することとさせていただきます。

それでは、横浜市における持続可能な航空燃料 SAF の取組みにつきまして、説明いたします。

【資料に基づき説明】

横浜市は、日本航空株式会社が持続可能な航空燃料（SAF）の製造推進に関する連携協定を締結し、市内における家庭で発生する廃食用油の回収を始めました。この廃食用油などを原料とした SAF について、航空業界では 2030 年時点において燃料使用量の 10%を置き換えることを目標に設定されています。廃食用油には、事業者から排出されるものの他、家庭から排出されるものがあります。廃食用油が資源に繋がるということ、家庭から捨てられた油が空飛ぶ飛行機を動かすかもしれない、という意識が広まれば、当委員会の調査テーマである循環型社会に向けての市内の機運醸成として、普及に向けた効果が期待できるのではないかと考えています。

この件につきまして、何かありましたらお願いします。しばらく、休憩します。

午前10時48分 休憩

午前11時00分 再開

○坂井美穂委員長

質問事項につきましては、次回の委員会までに委員の皆さまに委員長案を後日、ご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、協議題2.「その他」を行います。

その他として、委員から何かございませんか。

○澤田勝副委員長

生ごみをエネルギーに変えることについて、検討できないかという点から「生ごみの循環型社会の協働体制の仕組みづくり」について新たに調査研究に追加したいとの提案です。本市でもリサイクルセンターにてリサイクルを行っていますが、リサイクル率は30%未満となっています。生ごみを焼却するにも費用が掛かっていますが、県内豊橋市では、生ごみをバイオマス利活用センターにてエネルギー変えていることが分かりましたので、調査に追加することについて協議させていただきたいと考え、提案させていただきました。

○坂井美穂委員長

それでは、提案いただきました県内視察又はリモート視察などの実施について、ご意見

がありましたらお願いします。
しばらく休憩します。

午前11時05分 休憩
午前11時14分 再開

○坂井美穂委員長

会議を再開します。

休憩中にご協議いただきましたとおり、生ごみをどのように回収しているのかといった部分についても調査したいと思います。それでは、豊橋市への県内視察を実施するという
ことでよろしいでしょうか。

【 「異議なし」との声あり 】

○坂井美穂委員長

ありがとうございます。

それでは、豊橋市への視察を実施させていただきます。なお、日程につきましては、2月3日（月）、4日（火）を候補日としてよろしいでしょうか。

【 「異議なし」との声あり 】

ありがとうございます。

それでは、2月3日（月）、4日（火）を候補日とさせていただきます。調整結果につきましては、事務局からラインワークスにて連絡しますので、よろしく願いいたします。

このほかに何かありましたら、お願いします。

【 「なし」との声あり 】

ないようですので、この件はこれで終了します。

それでは、次回の委員会は12月17日（火）議案審査終了後から行いますのでよろしく
お願いいたします。

以上で、本日予定いたしました議事は、すべて終了いたしました。

ほかに、何かありましたらお願いします。

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午前11時17分 閉会